

災害のリアルを体験し、どう生きるか考えた「防災の日」

今年も夏休みに全校児童が「夏のチャレンジ」として作文や絵画など様々なコンクールに応募してくれた。その中で掛川市防火ポスターコンクールに応募した4年生の鈴木卯之助さんの描いた防火ポスターが最高賞を受賞した。見ると彼の絵には勢いよく燃えさかる炎がリアルに描かれていた。



さる10月25日、和田岡探究タイム(総合的な学習・生活科)の今年の日玉である「まちづくりJr.」、6月の「福祉の日」に続く第二段、「防災の日」を行った。8月には南海トラフ地震臨時情報が発表され、警戒感も高まってきている。そんな中、小学生であっても、小学生なりに、発災時に自分の身を守ったり、その日への備えをしたりできるようになってほしい。そんな願いを込めて、様々な体験を行った。西部危機管理局の方による防災講話。震度6や7の揺れを体験する起震車体験。発災時に火災が起きた想定で、水消火器を扱う訓練や、煙体験、救助袋を使つての脱出訓練。そして、その後の縦割りによる探究活動。少しでも災害のリアルを感じてほしかった。

この「まちづくりJr.」では毎回、探究活動の最後に、校長から全校児童に向けて問いを投げかけるようにしている。問いは「自分とは何者で、どう生きていくのか?」を考えさせる本質的な問いにしたいと考えている。今回も「防災の日を終えて、これからあなたはどんな人になりたいか。」と尋ねた。すると、探究活動の感想欄に、「ぐらぐらするくるまがたのしかった。」って、かわいらしい感想を書してくれた1年生が、「わたしはじぶんやともだち、かぞくのいのちをまもる人になります。」と書いていて、その感想とのギャップに、ますます私たち大人が、子どもたちの小さな命を守り抜かねばならないという思いを強くした。また、この「防災の日」には、そんな私の思いに共感してくれるであろう、たくさんの保護者、地域の皆様が参加してくださり本当にうれしかった。お忙しい中、ありがとうございました。

冒頭に子どもたちの夏休みのチャレンジの話をしたが、私もこの夏、私なりに何か挑戦しようと考え、「静岡教育弘済会静岡支部教育研究実践論文」に、本校の学校経営についてまとめ、応募した。すると先日、それが優良賞を受賞し、副賞として10万円をいただけるとの連絡を受けた。今年度はすでに「探究的な学び」をテーマとした研究論文で「はごろも教育研究助成賞」も受賞しており、ダブルの受賞を誇らしく思うと同時に、和田岡小学校が日々行っている教育活動に自信をもつことができた。

いただいた副賞の一部を子どもたちに還元してやりたいと、教頭先生に相談すると、教頭先生は、「もし児童が学校にいるときに発災し、やむをえず学校待機となった場合、当面の食料が必要になる。だから、長期保存が可能な防災食と、寒さをしのぐための防災保温シートがセットになった物があるから、それを児童数分購入し、もたせたらよいと思う。」と、アドバイスをくれ、早速注文をしてもらった。校長 梅葉 紳介

【11月の予定】

日	曜	予 定
15	金	第6回PTAあいさつ運動 ※10月下校パトロール対象の方
20	水	すくすくの会読み聞かせ 放課後子ども教室(絵手紙5・6年)
21	木	スクールカウンセラー来校
22	金	桜が丘中学校入学説明会(6年) 音楽交流会(6年)
28	木	修学旅行1日目(6年) 移動図書館
29	金	修学旅行2日目(6年)



【12月の予定】

1日(日)掛川市地域防災訓練
 3日(火)和田岡っ子アンケート
 5日(木)和田岡オンステージ
 スクールカウンセラー来校
 6日(金)参観会(学習発表会)
 第2回学校運営協議会
 11日(水)特別日課4時間(給食なし)
 13日(金)健康の日
 17日(火)移動図書館
 18日(水)すくすくの会読み聞かせ
 20日(金)冬休みを迎える会
 特別日課4時間(給食なし)
 ※冬休み12月21日(土)~1月6日(月)



地域学習「和田岡今昔」(6年)



防犯・安全教室(1・3・5年)



さつまいも収穫(1・2年)



防災講話(全校・たてわり班)



水消火器訓練(3・4年)



お茶の入れ方講座(4年)



起震車体験(全校・たてわり班)



避難袋訓練(5・6年)



昔の遊び(1年)



煙避難訓練(1~3年)

10月25日(金)防災の日

たくさんの保護者の方・地域の方の御参加ありがとうございました!!



町探検(2年)

このような日々の学校生活の様子を「eじゃん掛川」で毎日紹介しています。『eじゃん掛川和田岡小学校』と検索していただくか、QRコードから見るすることができます。

